

「 岐阜県発日本一、世界一 ～ 10月～ 」

スポーツ課 スポーツ振興担当

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
平成17年度全日本卓球選手権大会 女子団体	3位	H17.10.2	十六銀行	高橋美貴江 柳 絮飛 潮崎 由香	実業団、大学、高校、ジュニアチーム等12チームが出場。予選リーグ全体として2位で決勝トーナメントに進出。準決勝で、6月の前期日本リーグで優勝を争った日本生命(今大会、優勝)と対戦して2対3で惜敗し、雪辱を果たせなかった。 (兵庫県：豊岡市総合体育館)
第30回全国学生相撲個人体重別選手権大会 85kg未満級	3位	H17.10.2	海内 信宏 (朝日大)		東日本及び西日本学生相撲選手権大会で選抜された8階級128人の選手が出場。 85kg級で海内は、準決勝に進出し、白尾(日大)と対戦したが、押し出して敗れ決勝進出を逃した。 (東京都：靖国神社相撲場)
65kg未満級	優勝	H17.10.2	広瀬 大和 (名城大3年)	岐阜市出身	左前みつを引いての速攻相撲を武器に、全国16選手によるトーナメント戦を勝ち抜いた。準決勝・決勝では、豪快な右上手投げを決め、優勝を果たした。 (東京都：靖国神社相撲場)
第45回実業団・学生対抗陸上競技大会 女子スウェーデンリレー	優勝	H17.10.2	成瀬 美紀 (日女体大) 青木沙弥佳 (福島大)	関商工高出身 県岐阜商高出身	メンバーは成瀬(100m)・栗本(200m：福島大)、青木(300m)、丹野(400m：福島大)の学生4人が、これまでの記録を3年ぶりに0秒65更新する2分7秒35の日本記録で優勝を飾った。 (神奈川県：平塚市平塚総合公園平塚競技場)

大会、競技会名 (主催者名)	成 績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第89回日本陸上競技選手権 リレー競技大会  女子 400mリレー 1600mリレー	優 勝	H17.10.8 H17.10.9	青木沙弥佳 (福島大)	県岐阜商高出身	青木(福島大:県岐阜商高出身)は、400m リレー(24チーム)と1600mリレー(34 チーム)において優勝し、6年連続の2種目制覇 を果たした。 (群馬県:県立敷島公園陸上競技場)
第32回全日本大学ボート選手 権大会  女子ダブルスカル	優 勝	H17.10.9	若井 江利 (早稲田大)	加茂高出身	若井は、世界選手権代表の堀端彩子と組み、ス タートからトップに立ち、2位に3艇身程の差を つけて6月の全日本選手権に続き、同種目で優勝 を果たした。 岐阜大は、男子ダブルスカルで早大に中盤まで 5秒差と引き離されたが、終盤に2秒差まで追い 上げ2位となった。また、男子かじ付きペアでも 3位に入賞するなど健闘した。 井戸を含む明大の女子かじ付き四人スカルが、 健闘し2位に入賞した。 (埼玉県:戸田市戸田漕艇場)
男子ダブルスカル	2 位		岐阜経済大	丸浜由太郎 山本 亮太	
男子かじ付きペア	3 位		岐阜経済大	鶴瀬 正太 森田 良平 磯部 竜佑	
女子かじ付き四人スカル	2 位		井戸 希恵 (明治大)	加茂高出身	
2005日本グランプリシリー ズ第7戦群馬リレーカーニバル 男子1500m	2 位	H17.10.9	小林 史和 (NTN)	中京高出身	標準記録を突破した選手が出場。小林は、同種 目で昨年、日本新記録を出しているが、今大会で は2位であった。 平出は、予選2組2位で決勝に進出。決勝では 14秒15の3位入賞を果たした。 (群馬県:県立敷島公園陸上競技場)
女子100m障害	3 位		平出奈津子 (COLORS)		
第2回全国少年相撲選手権大会	2 位	H17.10.9	岐阜選抜		岐阜は順調に勝ち上がり、準決勝で入間A(埼 玉県)を5対0で圧倒。決勝では、やちわA(熊 本県)に2対3で惜敗し、準優勝を飾った。 (東京都:両国国技館)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
平成17年度全日本ライフル 射撃競技選手権大会 男子ビームライフル ちゅう射60発	2位	H17.10.9	森田 雅弘		各県の協会が推薦した選手が出場する大会。本種目の出場者は2名。森田は、1位の大久保(高知県)に0.6点差をつけられ、628.4点で2位となった。 (高知県:春野町県立春野総合運動公園射撃場)
第27回女子全日本学生ホッケー選手権大会	3位	H17.10.10	東海女子大		3位決定戦に臨み、3大会連続で1点差で敗れている天理大との対戦。東海女子が最後までゲームを支配し、2対1で破り3位入賞を果たした。 (山梨県:甲府市山梨学院大ホッケースタジアム)
JOCジュニアオリンピック カップ第24回全日本ジュニア バドミントン選手権大会 女子シングルス	2位	H17.10.10	奥 幸那 (県岐阜商高)		実力どおり順調に勝ち上がり、決勝では全国高校総体の決勝で敗れた藤井(青森山田高)との対戦。雪辱を期して臨んだが1対2で惜敗し、優勝にあと一步届かなかった。 (徳島県:鳴門市鳴門県民体育館)
JOCジュニアオリンピック カップ第23回全日本ジュニア 新体操選手権大会 女子フープ	優勝	H17.10.22	横山 加奈 (NPOぎふ新体操 クラブ)		第1日目は、クラブ、フープ、ロープが行われ横山がフープで12.375点をマークし、種目別の優勝を果たした。 (東京都:国立代々木体育館)
女子個人総合	優勝	H17.10.23	舛中 はるな		大会最終日に行われたリボンで、舛中と横山は同点優勝を果たし、その結果、前日のロープ、フープ、クラブを合わせた個人総合で舛中が優勝、横山が2位となった。また、団体においても二人が所属するNPOぎふ新体操クラブが3位に入賞し同選手権の県勢記録では過去最高の成績を飾った (会場: 同 上 )
	2位		横山 加奈		
女子団体	3位		NPOぎふ新体操 クラブ		

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第60回国民体育大会秋季大会  陸上競技 少年女子B 走り幅跳び	3位	H17.10.23	吉田 麻佑 (県岐阜商1年)		予選通過順位が11位タイの最下位で、決勝に進出。失敗ジャンプに気落ちせず、4回目の跳躍で自己ベストに13cmプラスの5m78cmの大ジャンプで、見事に3位入賞を果たした。 (岡山県：岡山県陸上競技場)
陸上競技 少年男子A 400m障害	優勝	H17.10.24	今井 順也 (県岐阜商3年)		体調が万全でなかった上に強豪がひしめく中、後半に混戦を抜け出しゴール直前でトップに立つ。結局、51秒15の県高校新記録で全日本ジュニア・全国高校総体チャンピオンの清水(秋田県)を破り、全国の頂点に立った。 (会場： 同 上 )
レスリング 少年フリー60kg級	3位	H17.10.24	鎌田 学 (岐南工3年)		粘り強い試合運びで準決勝まで進出。準決勝の相手は紋谷(茨城県)で、第1ラウンドは苦戦を強いられ、第2ラウンドは粘ったが終了寸前でポイントを奪われ、惜しくも3位となった。 (岡山県：倉敷市水島緑地福田公園体育館)
陸上競技 成年女子 400m	優勝	H17.10.25	青木沙弥佳 (福島大)	県岐阜商高出身	決勝は、強豪の久保倉(新潟県)、吉田(福島県)ら4人の福島大OBが出場。無欲で臨んだレースは、スタートで日本最高レベルの先輩に着いて行き、後半巻き返してラスト10mでトップに立ち、見事な優勝を果たした。 (岡山県：岡山県陸上競技場)
空手道 少年女子 形	2位	H17.10.25	寺澤 慶子 (岐南工2年)		昨年の国体から試合形式が変わり、相手との1対1の対戦による判定方式。寺澤は、持ち前のスピードと技の切れが冴え、決勝では山本(群馬県)に判定2対3の接戦で惜敗し、優勝を逃した。 (岡山県：JFE倉敷体育館)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第60回国民体育大会秋季大会  空手道 成年男子組手重量級	3位	H17.10.25	松久 功 (エヌケーシー)	岐南工業出身	調子は問題なかったが、準決勝で得意の上段けりが決まらず、まさかの敗戦。3位決定戦では樋口(長野県)に立ち上がりから積極的にポイントを重ね3位入賞を果たした。 (岡山県:JFE倉敷体育館)
ウェイトリフティング 少年94kg級スナッチ	2位	H17.10.25	糸井川真一 (中津高3年)		国体前に体調を崩し、十分な練習が出来なかったが、開幕直前で調子を取り戻し、本番ではスナッチ2位、苦手のジャークを4位とし、トータル3位と健闘し、3位入賞を果たした。 (岡山県:倉敷運動公園ウェイトリフティング場)
" トータル	3位				
ホッケー 成年女子	決勝	H17.10.26	岐阜選抜		アテネ戦士7人の布陣で、ライバルで強豪の栃木県、奈良県を連覇。決勝は地元の岡山県との対戦となった。前半はペースが作れなかったが、後半は組織的ホッケーを展開し、3対1で3年ぶり20度目の優勝を飾った。 (岡山県:熊山運動公園多目的広場)
馬術 成年女子 標準障害飛越	優勝	H17.10.26	中村 有里 (笠松ライディングスクール)		優勝決定戦には、10頭出場中ラストに出場。落ち着いた手綱さばきで、ミスなしの完璧なライディングにより、堂々の初優勝を果たした。  (岡山県:真庭市 山高原ライディングパーク)
陸上競技 成年女子 100m障害	2位	H17.10.26	平出奈津子 (多治見工高講師)		競技歴15年を超えるベテランが、予選の組1位で決勝に進出。決勝では自分の走りができ、国体において自己最高位の準優勝を飾った。  (岡山県:岡山県陸上競技場)

大会、競技会名 (主催者名)	成 績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第60回国民体育大会秋季大会  陸上競技 少年男子A砲丸投げ	2 位	H17.10.26	奥田 雄也 (岐南工高3年)		1投目から冷静に投げられ、3投目に17m6cmと自己ベスト並びに県高校最高記録を出し、見事に準優勝を飾り、全国高校総体(9位)の雪辱を果たした。 (岡山県:岡山県陸上競技場)
自 転 車 少年男子 4000m速度競走	2 位	H17.10.26	井関 太一 (岐南工高3年)		決勝では、序盤にスピード不足で前に出られなかったが、終盤にスパートし先頭責任をとると、そのまま逃げ切るもラスト30m付近で桜井(宮城県)に抜かれ、わずか1秒差で優勝を逃した。 (岡山県:玉野市競輪場)
ライフル射撃 少年女子 ビーム立射40発	3 位	H17.10.26	松岡江里奈 (済美高3年)		予選は400満点中399点で1位通過したが決勝では、緊張がピークに達し、1発目に9.4点をたたき痛恨のミス。これが最後まで響き優勝を逃し3位となった。 (岡山県:岡山市岡山武道館)
レスリング 少年グレコ96kg級	3 位	H17.10.26	伊藤 信明 (加茂農林高2年)		持ち味の瞬発力を生かしたスタンディングからのタックル系の技がさえ、準決勝に進出。相手は湯田(福島県)に惜しくも1対2で敗れ、決勝進出を逃したが、3位となり、全国大会の初入賞を果たした。 (岡山県:水島緑地福田公園体育館)
自 転 車 成年男子 4000m団体追抜	優 勝	H17.10.27	岐阜選抜	吉田 将成 中島 和夫 川西 貴之 青木 康貴	予想どおりの強さを発揮し、決勝まで進出。決勝では福島県との対戦。一糸乱れぬ走りで相手を圧倒し、「団抜き王国」岐阜の日本最速チームの強さを見せつけ、同種目2年連続の優勝を飾った。 (岡山県:玉野市競輪場)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第60回国民体育大会秋季大会  卓球 成年女子	優勝	H17.10.27	岐阜選抜	高橋美貴江 潮崎 由香 河村 安紀 (十六銀行)	優勝候補として、期待どおり決勝に進出し、決勝は広島との対戦。1番手の高橋がストレートで勝ち、2番手の河村がストレートで負け、3試合目のダブルスも接戦の末、落とした。4番手の河村が逆転勝利を収め、最後の5試合目の潮崎も接戦の末勝ち、約3時間に及ぶ熱戦を制し3対2で競り勝ち、同種目、県史上初優勝を飾るとともに競技別皇后杯を獲得した。 (岡山県：総社市スポーツセンター)
朝日杯日本学生ゴルフ選手権大会  男子	優勝	H17.10.26	高山 準平 (愛知学院大・瑞浪トナ)		初日、成績トップで最終日を迎え、落ち着いたプレーでラウンドし、2位に1打差の138(68・70)で初優勝を飾った。 (埼玉県：こだまゴルフクラブ)
第36回ジュニアオリンピック陸上競技大会  A男子200m	3位	H17.10.28	土井 友裕 (恵那西中)		標準記録を突破した6組46人が出場。土井は予選5組1着となり、準決勝で22秒23の県中学校記録を出し、決勝へ進出した。決勝では22秒60で3位入賞を果たした。 (神奈川県：横浜市日産スタジアム)